Make More Sustainable
サステナブルインフラの「いちご」

2021年7月6日

各　位

インフラファンド発行者名
東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
いちごグリーンインフラ投資法人
代表者名　執行役員　長崎　真美
（コード番号 9282）www.ichigo-green.co.jp
管理会社名
いちご投資顧問株式会社
代表者名　代表取締役社長執行役員　岩井　裕志
問合せ先　執行役員グリーンインフラ本部長
新田　貴生
（電話番号　03-3502-4854）

スポンサーの「RE100」目標達成年限 2040年から2025年へ

いちごグリーンインフラ投資法人（以下、「本投資法人」という。）は、わが国の投資市場の発展に貢献するとともに、地球に優しく安全性にすぐれたわが国のグリーンエネルギー自給への寄与に取り組んでおります。

本日現在、本投資法人が保有する発電所は、15発電所、約29MWであり、本投資法人のスポンサーであるいちご株式会社（2337 / 以下、「いちご」という。）が開発および運営する発電所は、開発確定済みの太陽光発電所および風力発電所を含め約200MW（本投資法人保有を含む）に及びます。さらに、エネルギーミックスによる電力供給の安定性向上に向け、森林の高齢化課題に対応したグリーンバイオマス事業についても計画しております。

いちごは、地域および地球に優しいクリーンエネルギー事業を積極的に推進するとともに、不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心をこめた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造する心築（しんちく）を軸とした事業モデルをさらに進化させ、「100年不動産」へチャレンジしております。

本投資法人およびいちごは、サステナブルな社会の実現を目指しており、その一環として、いちごでは、事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーとすることを目指す国際的なイニシアティブである「RE100」に加盟し、「脱炭素宣言」をしております。いちごでは、この度、このRE100目標達成年限を2040年から2025年に15年前倒しすることとし、より一層、脱炭素社会実現への取り組みを加速してまいります。

※ 心築とは、いちごの不動産技術とノウハウを活用し、一つ一つの不動産に心をこめた丁寧な価値向上を図り、現存不動産に新しい価値を創造することをいい、日本における「100年不動産」の実現を目指しております。

【いちごの新目標】

2025年までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにする

この目標においては、いちご、本管理会社が運用する上場投資法人のいちごオフィス（8975）およびいちごホテル（3463）が保有する不動産にて消費する電力を含めて100%再生可能エネルギーとすることを目指しております。

本投資法人は、この目標に賛同し、投資主価値の最大化を図るとともに、脱炭素社会に向けて、引き続き、再生可能エネルギーの創出による環境負荷の低減に貢献してまいります。

■ 「RE100」の概要

世界で影響力のある企業が、自らの事業で使用する電力を、CO2を発電時に排出しない太陽光、風力、水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーで100%調達することにコミットし、将来的に脱炭素社会（カーボンニュートラル）社会に移行することを目的とする国際イニシアティブです。

国際環境NGO「The Climate Group（TCG）」が、投資家等に向けて企業の環境情報を提供する国際的NGO「CDP」とのパートナーシップのもとで主催しております。また、企業や投資家の温暖化対策を推進している国際機関やシンクタンク、国際的NGO等が構成機関となって運営しているプラットフォームの「We Mean Business」連合の一部としても運営しています。日本では、2017年4月より「日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）」がRE100の地域パートナーとして日本企業の参加（2021年6月現在56社）を支援しています。

RE100への参加対象企業は、以下のいずれか1つ以上に該当する企業です。

1. グローバルまたは国内で認知度・信頼度が高い
2. 主要な多国籍企業（フォーチュン1000またはそれに相当）
3. 消費電力量が100GWh以上（※）
4. RE100の目的に寄与する、何らかの特徴と影響力を有する

（※）現在、日本企業は50GWh以上に緩和されています。

以　上